

緑丘会札幌支部 主催の暑気払い 報告書

H5 卒 八十島 忍

1 開催日 平成 25 年 8 月 2 日(金)

2 場所等

1 次会 中村屋旅館（札幌市中央区北 3 西 7） 18:30～20:50
2 次会 福久楼（札幌市中央区北 3 西 7 道庁別館 1 階） 21:00～23:30

3 出席者（敬省略）

1 次会（65 名）

S41 舟本秀夫
S45 上田一敏、下斗米寛泰
S49 大石一良
S50 福田和弘
S53 畑山邦彦
S54 福井芙美子、角田国孝
S57 吉田幸弘
S58 平田尚美
S60 鈴木賢周
S61 和田治久、
S62 小西一郎、長谷山靖、三浦正之
S63 野村文吾、村田就衷、沼田博光、高辻哲哉、
H1 岩見真彦
H2 谷口晶彦
H3 小谷聖、荒木和幸
H4 佐藤順一
H5 八十島忍、小嶋京子
H6 小野徹、石田祥代
H7 研谷敦、木村一哉、寺井貫生、前井純一、佐伯志保、高橋麻由子
H8 橋本潤美
H9 大坂則幸、吉田愛、寺下教夫
H10 安田径央
H11 猪口純路、河崎智之、草刈貴裕
H12 北川泰治郎、百田希望
H13 菊地圭児、山中いずみ
H15 山本真史、田中未来、大門あすか
H16 舘崎俊則、栗城和也
H18 須川正啓、入倉繁樹
H21 大沼智宏
H22 小川恭平、稲船りか
H23 久保田圭祐
H24 遠藤真彩、中川智絵、出雲未希、片山大輔
H25 佐野貴大、山田祐己、佐藤優太

3年岡島正幸

2次会から参加 H6 村上由江、河村康市、4年長岐沙奈美(計32名)、

4 開催趣旨

今回の暑気払いは、釧路から札幌に遠藤真彩さんが7月1日付けで転勤になるとの情報を宮城支部の福田事務局長からお聞きしたのが発端でした。早速歓迎会を行うべく準備に入りましたが、平成前後以降の中堅や若手のOBが大勢集る機会であることから、有志による企画・運営としつつ、札幌支部の行事とする集まりに発展させたものです。

其の結果、仙台から緑丘会宮城支部事務局長の福田和弘様、釧路から安田径央様、そして帯広からは所用で札幌にいらした野村文吾様にご出席下さいました。又、野村様には所属されて居た硬式庭球部の方に声を掛けて頂きました。此の場を借りて御礼申し上げます。

5 内容

1次会

(1)開会

幹事であるS62卒の小西一郎の司会進行により始まりました。

冒頭、急な体調不良に因り已む無く欠席となられた篠崎名誉教授についての報告がありました。次に、幹事団としてH5年卒の八十島忍、H7年卒の寺井貫生、H9年卒の寺下教夫、大坂則幸、吉田愛、H21卒の大沼智宏の紹介がありました。続いて、支部行事を魅力ある楽しいものにするべく6月の支部総会後の2次会を企画したこと、其の熱の冷めない内にということで今次の集りを企画した旨の説明がありました。

最後に、経費助成をして下さいました緑丘会札幌支部、出羽桜純米吟醸をお贈り下さいました緑丘会宮城支部の尾形副支部長について、報告とお礼が述べられました。

(2)乾杯

札幌支部の副支部長で、女子会の会長でいらっしゃるS54卒の福井芙美子先輩より乾杯の挨拶をいただきました。

札幌支部が公式行事以外に会合を開き、そこに平成卒の若手がこれだけ集まるのは初めてであるとのことでした。そして、そのうち女性が10名を超えることとなりました。これをきっかけに若手会員とのネットワーク形成や交流の促進、女子会の更なる拡大を支援したい旨、お話をいただきました。

(3)懇談

上はS41卒の舟本先輩、下は現役の3年生まで、年齢差は50年に及びました。しかしそこは商大の絆の強さ、緑丘の同窓ということだけで直ぐに打ち解け、皆、席を移動、あちこちで話に花が咲いていました。和室を会場とした八十島幹事の狙いは見事に当たりました。



司会の小西さん



乾杯をする福井副支部長



開始直後の歓談の様子

(4)スピーチ第1部

今回の集りには、札幌のみならず、道内各地、そして仙台からも駆けつけていただきました。本来であれば、皆様から一言いただきたいところでしたが、参加者多数の為、司会から指名させて頂きました。(発表者－発言概要)

遠藤真彩さん(H24 卒)－7月に札幌に転勤してきて、暑さや仕事面、友達ができるか不安もあった。しかし今回、大勢の方に歓迎されて商大卒で良かったと現在進行形で感激している。

山田祐己さん(H25 卒)－卒業は1年遅れたが入学は遠藤さんと同期、年次大会では後半から参加したので、今回はたくさんのOBと話がしたい。

安田径央さん(H10 卒)－釧路から元気な遠藤さんが札幌へ異動した。今後とも彼女をよろしくお願いしたい。自分も8月25日に北海道マラソン参加で来札する。

野村文吾さん(S63 卒)－福田先輩から暑気払いの案内をいただいた。偶然、来札中であり、参加することとして硬庭の後輩OBにも声を掛けた。こんな大勢の前になるとは思わなかった。皆さんの前で話ができることをうれしく思う。

尚、司会より、野村様が8月22日に北海道銀行主催のセミナーで、S59 卒の佐藤等さんと講師を勤めることが文書と共に紹介された。14時から札幌プリンスホテルで実施。



遠藤さん

山田さん

安田さん

野村さん

(5)再度の懇談

アルコールも回り、会場は大いに盛り上がった。席を自由に動き回り、あちらこちらに歓談の輪が出来上がりました。皆さんお話するのに夢中で、お料理が沢山残るほどでした。あっと言う間に後半のスピーチの時間となりました。

(6)スピーチ第2部

北川泰治郎さん(H12 卒)－現在商大CBCで教鞭を執っている。小樽商科大学ビジネススクール(OBS)10周年のシンポジウムが8月31日にプリンスホテルで開催される。ぜひ、参加して欲しい。また、本日、商大のプレゼン案が文部科学省の大学COC事業として採択された。

河崎智之さん(H11 卒)－現在商大職員、COC事業については、江頭先生と文科省でヒアリングを受けた。全国で300近い応募があり、道内では国公立大学として唯一、採択された。他に道内で採択されたのは札幌市立大のみ、共に6倍近い競争を勝ち残った。

稲船りかさん(H22卒)、久保田圭祐さん(H23卒)－2人とも飛び込みで参加。現在、最初の職場を退職し札幌市職員を目指している。今後ともこうした集りに参加したい。

福田和弘さん(S50卒)－遠藤さんの歓迎会を八十島君に提起した時から是非参加したいと思っていた。宮城支部でも若手動員のため、自分自身がフェイスブックを始めるなど色々な取り組みを行った。お陰様で若手による平成組も立ち上がった。

支部行事も新年会と総会に加え、花見、ジンギスカン、芋煮会と年5回を数える。それ以外にも随時、支部の集りを積極的に行っている。つい先日も野村社長が仙台にいらした時に宴会を開催したが、支部会員総数100人の実に2割の方々が参加してくれた。札幌支部は新年会と総会の年2回だけと聞いている。この暑気払いを機に会合を増やし、3,000名近くいる札幌支部会員を掘り起こしてはどうか。宮城支部としても札幌支部に全面的に協力し応援していきたい。



北川さん

河崎さん

稲船さん

久保田さん

福田さん

(7) 閉会挨拶

もう1人の主任幹事であるH5卒の八十島忍から、先ず暑気払いに参加してくれた皆様へお礼の言葉が述べられた。続いて、メールやフェイスブックで呼びかけたお陰で、遠藤さんや野村さん初め、初めてお会いする方が10名以上も増え、輪が広がったこともあり、開催して本当に良かったと感じた。

今日集ってくれた皆さんが、1人を連れて来てくれれば120名となり、2人だったら200名を超える。次回の集りをこの会場では入りきれないぐらい規模とし、谷口先輩のいらっしゃるプリンスホテルで開催しようという話がありました。

(8) 若人逍遥の歌

照明が落とされ、全員が大きな輪を組み、第79代応援団で4月から小樽より札幌に転勤となった大坂則幸の口上に続き、若人逍遥の歌の1番が歌われ、フレフレ商大、フレフレ緑丘会のエールが切られました。



尾形さんの出羽桜くんを持って



八十島挨拶



大坂さんの口上とエール

(9) 記念撮影

参加者65名+同伴されたお子さん2人の全員で集合写真を撮りました。



2次会以降

2次会は、八十島の司会で行われました。H8卒の古賀(旧姓吉中)ゆかこさんが経営する福久楼の一角を貸し切る形で行われました。閉店後も話が尽きることがなく23時30分のJRの終電を目途に3次会に流れました。3次会はS62卒の帰山さんが経営する怪物ランドへ向かいました。さらにその後、小西、安田、菊地の3名で「4時までの」「4次会」も行われました。



2次会の乾杯挨拶



3次会の乾杯



4次会のメニュー

以上